

## 公共下水道事業の経費回収率向上に向けたロードマップ

令和6年10月1日に下水道使用料の改定を行ったことを踏まえ、国土交通省通知「社会資本整備総合交付金等の交付にあたっての要件等の運用について」に基づき、公共下水道事業の経費回収率向上に向けたロードマップを以下に示します。

### 1. 下水道使用料改定の必要性検証

5年毎に行う流域下水道維持管理負担金単価に関する埼玉県との協議時期に合わせ、下水道使用料改定の必要性を検証することとします。

公共下水道事業の運営においては、流域下水道維持管理負担金の支出が非常に大きな比重を占めており、その単価の変動は事業運営に大きな影響を与えます。令和6年度は、流域下水道維持管理負担金単価の上昇を受け、下水道使用料の増額改定を行いました。

経営戦略及び関連計画の見直しスケジュール、下水道使用料改定の必要性検証時期

各種計画	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
下水道事業経営戦略	策定					見直し					改定
下水道使用料の在り方検証				検証	改定				検証	改定検討	
公共下水道ストックマネジメント計画	策定				見直し					見直し	
農業集落排水最適整備構想	策定					見直し				見直し	
下水道総合地震対策計画	策定						見直し				
下水道事業全体計画	策定					見直し					見直し

…策定時の計画期間

…見直し後の計画期間

## 2. 経営改善の取組及び業績指標

本市の公共下水道事業の水洗化率は89.59%（令和5年度末）であり、本市と類似団体※の平均値よりも依然低い水準にあります。収入確保のため、整備完了後に数年間接続のない未接続世帯に対して戸別訪問や接続依頼文書の配布等により普及活動を行い、特に公共下水道事業概成後の令和8年度以降は取り組みを推進します。

また、水洗化率を経営改善のための業績指標と定めます。公共下水道事業概成予定の翌年度である令和8年度を中間年度とし89.92%、本経営戦略策定期間の最終年度である令和12年度に90.36%に引き上げることを目標とします。

公共下水道事業の水洗化率及び類似団体平均値の推移

	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R8 目標	R12 目標
本庄市公共下水道事業 水洗化率	89.24	89.44	89.42	89.59	89.92	90.36
(参考) 類似団体平均水洗化率	92.72	92.88	92.9	未公表	—	—

※総務省が公表する経営比較分析表における類似団体区分による、処理区域内人口3万人以上5万人未満で処理区域内人口密度・供用開始後年数が同規模の団体

## 3. 支出削減の取組

支出削減の取組については、令和2年度の計画策定時に定めているため、本編の内容を再掲します。

### 今後の投資についての考え方・検討状況

投資の平準化に関する事項	改築・更新について、公共下水道事業は「公共下水道ストックマネジメント計画」、農業集落排水事業は「農業集落排水最適整備構想・再編計画」に基づいて、投資の平準化を図りながら計画的に事業を実施していきます。
--------------	--

### 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間活力の活用に関する事項(包括的民間委託等の民間委託、指定管理者制度、PPP/PFIなど)	現在、包括的民間委託などの取組は行っていないですが、国や周辺市町の動向を踏まえ、検討を視野に入れていきます。
職員給与費に関する事項	適正な組織体系の構築を図り、人件費の適正化に取り組みます。
修繕費に関する事項	公共下水道ストックマネジメント計画等に基づき、計画的に維持管理を行うことでコスト削減を図ります。
委託費に関する事項	発注方法や委託内容を見直し、適切に維持管理を行うことで、コスト削減に努めます。

(本編 p.32 「6.4 今後の取組事項」より公共下水道事業関係部分を抜粋)